

[005] 生活体験学習研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/8994>

出版情報：生活体験学習研究. 5, 2005-01-28. 日本生活体験学習学会
バージョン：
権利関係：

日本生活体験学習学会 事務局報告

I 理事会会議日程

第1回理事会

2004年4月10日 於 九州大学社会教育研究室

第2回 6月12日 於 九州大学社会教育研究室

第3回 9月25日 於 九州大学社会教育研究室

臨時理事会 10月16日 於 庄内町生活体験学校

第4回 12月5日 於 九州大学社会教育研究室

II 会員実数 2004年12月5日現在

個人会員 163名

法人会員 3名

III これまでの活動

* 第4回研究大会 開催

2004年1月31日

於 福岡県立社会教育総合センター

* 第5回実践交流会 開催

2004年10月16日

於 庄内町生活体験学校

* 学会誌の発刊

第4号 2004年1月 発刊

* 学会通信の発行

第20号 2004年6月18日発行

第21号 2004年11月5日発行

IV 総会・理事会での決定事項

(1) 学会総会における決定事項

まず、事務局より2003年度の会務報告がなされ、了承されました。会務報告の内容については、学会通信第16～19号に「事務局からのお知らせ」にて既報しています。

次に、2003年度の会計決算報告がなされ、会計監査から相違ないとの監査報告がなされ、これが了承されました。

2004年度の会計予算案が提出され、これが了承され

ました。

理事会より、学会誌第4号が発刊されたことの報告、および本年度も学会誌を発刊(第5号)することが報告され、これが了承されました。また、学会会員による「生活体験学習事典」が編纂中である旨が報告されました。

今後の研究活動について、科研費研究報告「子どもの心と体の主体的発達を促進する生活体験学習プログラム開発に関する研究」の研究経過報告ならびに研究成果報告がなされました。

第6回実践交流会について、実践交流会実行委員会より平成16年10月16日(土)に庄内町生活体験学校で実施されることが報告されました。

(2) 第1回理事会での決定事項

第1回理事会では、①事務局体制が事務局幹事を永田誠、事務局員を大村綾(ともに九州大学大学院)への変更、②学会の組織体制・事務局体制などを考えるワーキンググループの設置とメンバーとして理事から正平辰男・南里悦史・古賀倫嗣・上野景三・緒方泉の5名の選出、③学会リーフレットの作成担当理事として古賀倫嗣・相戸晴子の2名の選出、④選挙管理委員会担当理事として佐藤洋美理事の選出と、選挙までの日程について確認、の以上4点が協議の上、承認されました。

(3) 第2回理事会での決定事項

第2回理事会では、①選挙管理委員として、佐藤洋美理事を選挙管理委員長に、吉田達也会員、田川ふみ会員の3名の選出、②学会誌第5号の進捗状況についての報告、③第6回実践交流会の準備状況についての報告、④学会リーフレットの作成文書についての協議、⑤学会組織戦略ワーキンググループでの協議内容報告、⑥学会会費納入についての会員へのお願いを事務局から送付することについて、の以上6点が協議の上、承認されました。

(4) 第3回理事会での決定事項

第3回理事会では、①第6回実践交流会の準備状況についての報告、②第6回研究大会を2005年1月30日、福岡県社会教育総合センターにて開催すること、およ

び研究大会担当理事として、南里悦史・末崎雅美・緒方泉の3理事を、シンポジウム担当理事として横山正幸・古賀倫嗣・佐藤洋美・相戸晴子の4理事を選出、③第1回選挙管理委員会を10月23日に行い、有権者の確定を行うことについて、④学会誌第5号の個人論文の締め切りを10月22日とすることについて、⑤学会通信第21号を実践交流会特集号として11月5日に発行することについて、⑥学会通信21号の発行にあわせて、学会理事選挙投票用紙と第6回研究大会自由研究発表エントリーシートを送付することについて、⑦学会リーフレットの完成の報告とその使用について、の以上7点が協議の上、承認されました。

(5) 臨時理事会での決定事項

10月16日の庄内町生活体験学校で開催された第6回実践交流会終了後に臨時理事会が行われ、学会理事選挙における会員の被選挙権の条件について、「学会費の完納」から、「2000年から2002年までの会費を完納している者、または2003年以降に当学会に入会した者」と

することが協議の上、承認されました。

(6) 第4回理事会での決定事項

第4回理事会では、①学会通信第21号発行の報告、②理事選挙開票結果の報告と就任の承諾、その後に会長推薦理事を選出した上での新理事体制の決定についての確認、③第6回研究大会でのシンポジウムテーマを「子どもの体と心と生活体験—今、大人に求められる役割とスキル」とすること、登壇者についてシンポジストは地域社会、乳幼児・保育、小学校、中学校の4つの枠組み出で組み立て、実践者を中心とすること、④自由研究発表の申し込みが少ないため、理事が積極的に依頼し、自由研究発表を依頼された発表者については、年会費は来年度分と見なし、今年度分についてはもらわないこととする特別処置について、⑤第6回研究大会の事前参加申し込みを2005年1月22日とすること、の以上5点が協議の上、承認されました。

(文責：永田 誠)